

# 輝け 若人

「いろんな見方をし  
てみる」。日ごろから  
心掛けています。高  
校でデザインを学ん  
だ私は、「同じ赤」で  
も見る人や角度によっ  
て違う感じ方・読み取  
り方があると知りまし  
た。

自然環境工学科で土  
木に触れたのは、高校  
で学んだデザインの見

方を一歩下がって見直  
したいと思ったから。  
デザインは単純に絵や  
模様を指すのではなく、

「人と自然が共存しや  
すい環境をつくりたい」  
と今の道を選びました。  
大学生活が始まった

下で製図の実習や環境  
等の座学などを学んで  
います。なかなか大学  
に出向く機会がないの

## 柔軟な対応力を



第一工業大学 1年  
自然環境工学科

杉本 侑弥 さん

橋や道路、はたまた人  
生を計画することも含  
みます。学んだことと  
違った視点から学び、

のは新型コロナウイルスの影響  
で5月からでした。大  
半の授業はオンライン  
となり、慣れない環境

ですが、交通費や食費  
が浮き、家事を手伝い  
ながら自習するなど私  
生活に余裕を持って大

学生生活と向き合えてい  
る気がします。  
土木を学び始め、気  
にも留めていなかった  
橋の工夫や自宅で何気  
なく使っていた水道な  
ど生活に欠かせないも  
のが急に存在感を放っ  
て目に飛び込んできた  
ようになりました。  
新型コロナウイルスによつて  
オンラインやテレワー  
クが増えました。土  
木も目まぐるしく変化  
する環境に適応できる  
デザインが大切。将来、  
それを社会の役に立つ  
形で表現できるよう、  
新たな生活様式の中で  
学びながら柔軟に対応  
できる力を高めたいで  
す。